

5.1 建築デザイン分野

幅広い建築計画理論と美的素養を基に、建築の企画・計画の流れを把握し、建築・都市という実体にまとめ上げ、デザインする能力を有する建築家・建築設計技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等						
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D							
外国語科目	英語1 → 英語2 → 英語3 → 英語4																必修 8単位						
基盤科目	数学1 ↓ 数学2 ↓ 物理1 → 物理2 ↓ イタリア語・イタリア文化 → 中国語・中国文化 ↓ 文化と文明				技術者倫理 → 環境とエネルギー ↓ Design Basics in English												必修 6単位						
専門科目 学部科目	↓ デザイン文化論 → 建築と文化 → 風土と建築 ↓ アーバンイズム																						
専門科目 学科基礎科目	導入ゼミナール(建築) ↓ 建築入門 ↓ デザインスタジオ1(建築) → デザインスタジオ2(建築) ↓ 造形スタジオ				↓ デザイン理論(建築) → 建築計画1 → 建築計画2 ↓ デザインスタジオ3 → デザインスタジオ4 ↓ 建築のしくみ → 構法スタジオ ↓ 材料の力学 → 骨組の力学 ↓ 部材の力学 → 建築気候 ↓ 建築材料 → 空調調和設備				↓ 西洋建築史 → フィールドワーク(建築) → 都市史 ↓ 建築の空間と形態 → 日本建築史 → 近現代建築史 ↓ 建築論・建築造形論 → 建築フォーラム ↓ デザインスタジオ5 → デザインスタジオ6 ↓ インターンシップ(建築) → デジタルスタジオ				↓ 卒業研究1(建築) → 卒業研究2(建築) ↓ 卒業設計1 → 卒業設計2 ↓ デザインスタジオ7				↓ 不造建築の補法 ↓ 建築生産 ↓ 建築法規(建築)				必修 30単位	選択科目 28単位以上	必修 8単位
専門科目 学科科目																							
単位数合計	41				41				35				11				128						

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 建築デザイン分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほかに、専門科目学科科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。
 なお、この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすためのすべての科目を表記したものではない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.2 建築・都市史分野

都市と建築の歴史を学び、それらが成立した社会的・文化的背景を把握し、それらがアーキテクトマインドといかに結びついているかという創造的な行為を通じて、都市計画家・建築家・研究者・出版社などを志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
基盤科目	数学1 ↓ 物理I																必修 6単位
専門科目 学部科目	イタリア語・イタリア文化 → 中国語・中国文化 ↑ 文化と文明 ↑ デザイン文化論				国際社会論		技術者倫理										
専門科目 学科基礎科目	スポーツ総合演習				建築と文化		風土と建築		アーバンイズム		Design Basics in English						必修 30単位
					建築材料		骨組の力学		部材の力学		建築気候		空気調和設備				
					材料の力学		建築のしくみ		構法スタジオ		木造建築の構法						
					建築計画1		建築計画2		建築計画1		建築法規(建築)						
					建築計画2		デザインスタジオ4		導入ゼミナール(建築)		施工管理						選択科目 28単位以上
					デザインスタジオ1(建築)		デザインスタジオ2(建築)		建築入門								
					デザインスタジオ2(建築)		デザインスタジオ3		デザインスタジオ1(建築)								
					造形スタジオ		デザインスタジオ4		デザインスタジオ2(建築)								
							デザインスタジオ5		造形スタジオ								
							建築フォーラム		デザインスタジオ3								
							近現代建築史		デザインスタジオ4								
							都市史		建築フォーラム								
							都市計画		近現代建築史								
							卒業研究1(建築)		都市史								
							卒業研究2(建築)		都市計画								
							卒業設計1		卒業研究1(建築)								
							卒業設計2		卒業研究2(建築)								
単位数合計	37				41				27				8				113

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 建築史・都市史分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほかに、専門科目学科科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。
 なお、この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすためのすべての科目を表記したものではない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.3 環境工学・建築設備分野

環境工学・建築設備の基礎知識を基に、環境保全に配慮しながら、人の安全と快適、衛生・健康を確保するために最適な環境設備システムの選択と設計を行うことができる設備設計技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
基盤科目	数学1	数学2	数学演習1	数学演習2	物理学1	物理学2	法学(日本国憲法)	技術者倫理	環境とエネルギー								必修 6単位
専門科目 学部科目	イタリア語・イタリア文化	中国語・中国文化	デザイン文化論	風土と建築	環境工学	サステイナブルデザイン	Design Basics in English	開発と国際協力	英語表現技術								
専門科目 学科基礎科目	導入ゼミナール(建築)	建築入門	部材の力学	骨組の力学	材料の力学	構法の力学	西洋建築史	日本建築史	建築法規(建築)	木造建築の構法	建築フォーラム	環境生態学					必修 30単位
	デザインスタジオ1(建築)	デザインスタジオ2(建築)	建築のしくみ	構法スタジオ	建築材料	建築計画1	日本建築史	建築の調査実習	施工管理	木造建築の構法	建築フォーラム	環境生態学					選択科目 28単位 以上
	造形スタジオ	図形の技術	建築生理心理1	建築生理心理2	建築生理心理1	建築生理心理2	音・振動環境	音・振動環境	光・視環境	光・視環境	卒業研究1(建築)	卒業研究2(建築)					必修 8単位
			建築気候	建築気候	建築気候	建築気候	音・振動環境	音・振動環境	光・視環境	光・視環境	卒業研究1(建築)	卒業研究2(建築)					
			給排水・電気設備	空気調和設備	給排水・電気設備	空気調和設備	設備デザイン基礎	設備デザイン基礎	建築設備総合デザイン	建築設備総合デザイン	卒業設計1	卒業設計2					
専門科目 学科科目																	
単位数合計	40				41				37				10				128

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 環境分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほか、専門科目学科科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。
 なお、この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすためのすべての科目を表記したわけではない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.5 建築構法・施工分野

先端的な構法と施工技術の能力を有し、建築材料や施工管理を通して現代の社会的責任を果たすことのできる建設施工技術者・管理技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1 → 英語2 → 英語3 → 英語4																必修 8単位
基盤科目	数学1 数学2				物理1 → 物理2				イタリア語・イタリア文化 → 文化と文明				技術者倫理 → 法と現代社会				必修 6単位
専門科目 学部科目	環境工学				デザイン文化論 → 建築と文化				サステイナブルデザイン				知的財産権 環境とエネルギー				
専門科目 学科基礎科目	導入ゼミナール(建築)				建築入門				建築気候				卒業研究1(建築) → 卒業研究2(建築)				必修 30単位
	給排水・電気設備				空気調和設備				設備デザイン基礎 → 建築設備総合デザイン				卒業設計1 → 卒業設計2				選択科目 28単位以上
	西洋建築史				日本建築史				近現代建築史				卒業設計2				
	建築材料				材料特性実験				木造建築の構法				卒業設計1				
	部材の力学				鉄筋コンクリートのデザイン 材料のデザイン				鋼のデザイン				卒業設計2				
	材料の力学				骨組の力学				建築法規(建築)				卒業設計1				必修 8単位
	建築計画1				建築計画2				建築生産				卒業設計2				
	デザインスタジオ1(建築)				デザインスタジオ2(建築)				デザインスタジオ3				卒業設計1				
	デザインスタジオ2(建築)				デザインスタジオ3				デザインスタジオ4				卒業設計2				
	造形スタジオ				図形の技術				建築のしくみ				卒業設計1				
	造形スタジオ				図形の技術				構法スタジオ				卒業設計2				
	建築のしくみ				構法スタジオ				施工管理				卒業設計1				
	建築のしくみ				構法スタジオ				施工管理				卒業設計2				
専門科目 学科科目									インターシップ(建築)								
単位数合計	37				41				32				12				122

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 構法・施工分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほかに、専門科目学科科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。

なお、この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすためのすべての科目を表記したのではない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

カリキュラムマップ

各科目が属するディプロマポリシーに○を付記しています。

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標					
			大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とその保全にあることを理解し、その職業的責任を果たす覚悟がある	修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協動的に取り組みながら、最良の成果を目指すことを第一義とする	建築に関わる情報技術の習熟を通じて、複雑で多岐にわたるデータを適格に把握し正確に分析処理することができ、結果を解りやすく有用な表現形式に再構築し提供できる	企画やデザイン提案、研究や報告内容について、論理的に記述し明解に口頭説明する能力、及び他者と建設的に討議討論する能力、並びにそれをいついかなる場においても発揮することのできる語学力を有する	
外国語科目	1	英語 1						○
	1	英語 2						○
	1	英語 3						○
	1	英語 4						○
	1~4	英語 1 (補講)						○
	1~4	英語 2 (補講)						○
	1~4	英語 3 (補講)						○
基盤科目	経営系	1~4	財務会計	○				
		1~4	マーケティング	○				
		1~4	国際社会論	○				
		1~4	エコノミクス	○				
	法律系	1~4	法学 (日本国憲法)	○				
		1~4	法と現代社会	○				
		1~4	知的財産権	○				
		2~4	技術者倫理	○				
		1~4	開発と国際協力	○				
	人文系	1~4	文化と文明	○				
		1~4	認知科学	○				
		1~4	イタリア語・イタリア文化	○				○
		1~4	中国語・中国文化	○				○
		1~4	環境とエネルギー	○				
	工学系	1・2	数学 1				○	
		1・2	数学 2				○	
		1・2	物理 1				○	
		1・2	物理 2				○	
		1・2	数理演習 1				○	
		1・2	数理演習 2				○	
1~4		バイオエンジニアリング				○		
1~4		ケミカルエンジニアリング				○		
保健体育	1・2	スポーツ総合演習	○					
基盤科目	留学生科目	1~4	日本語 1					○
		1~4	日本語 2					○
		1~4	日本語 3					○
		1~4	日本語 4					○
		1~4	日本文化論	○				
		1~4	日本の工業技術	○				
		1~4	一般数学				○	

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標				
			大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とその保全にあることを理解し、その職業的責任を果たす覚悟がある	修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協動的に取り組みながら、最良の成果を目指すことを第一義とする	建築に関わる情報技術の習熟を通じて、複雑で多岐にわたるデータを適格に把握し正確に分析処理することができ、結果を解りやすく有用な表現形式に再構築し提供できる	企画やデザイン提案、研究や報告内容について、論理的に記述し明解に口頭説明する能力、及び他者と建設的に討議討論する能力、並びにそれをいついかなる場においても発揮することのできる語学力を有する
専 門 科 目	学 部 科 目	1 デザイン文化論		○			
		2 建築と文化		○			
		2 サステイナブルデザイン		○			
		3 英語表現技術		○			○
		2 都市デザイン		○			
		2 アーバニズム		○			
		2 風土と建築		○			
		2 デザイン史		○			
		2 福祉工学		○			
		2 地図とGIS		○			○
		2 ランドスケープデザイン		○			
		2 都市・地域政策		○			
		2 環境工学		○			○
		2 テクニカルライティング		○			○
		2 数理統計学		○			○
		3 タウンマネジメント		○			
		2 マテリアルサイエンス		○			
	3 公共空間デザイン及演習		○				
	3 品質マネジメント		○				
	2 Design Basics in English					○	
	学 科 基 礎 科 目	1 導入ゼミナール（建築）		○			
		1 建築入門		○			
		1 造形スタジオ		○			○
		1 図形の技術		○	○		
		1 デザイン理論（建築）		○	○		
		1 デザインスタジオ1（建築）		○	○		○
		1 デザインスタジオ2（建築）		○	○		○
		2 デザインスタジオ3		○	○		○
		2 デザインスタジオ4		○	○		○
		2 建築気候		○			○
		2 建築のしくみ		○	○		
		2 建築計画1		○	○		
		2 建築計画2		○	○		
2 西洋建築史			○	○			
2 建築生理心理1			○			○	
2 建築生理心理2			○			○	
2 空気調和設備		○			○		
2 給排水・電気設備		○			○		
2 平面の力学		○			○		
2 骨組の力学		○			○		
2 建築材料		○			○		
2 材料の力学		○			○		
2 部材の力学		○			○		
2 構法スタジオ		○	○		○		
2 建築の空間と形態		○	○		○		

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標				
			大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とその保全にあることを理解し、その職業的責任を果たす覚悟がある	修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協動的に取り組みながら、最良の成果を目指すことを第一義とする	建築に関わる情報技術の習熟を通じて、複雑で多岐にわたるデータを適格に把握し正確に分析処理することができ、結果を解りやすく有用な表現形式に再構築し提供できる	企画やデザイン提案、研究や報告内容について、論理的に記述し明解に口頭説明する能力、及び他者と建設的に討議討論する能力、並びにそれをいついかなる場においても発揮することのできる語学力を有する
学 科 科 目	3	インターンシップ（建築）		○	○		○
	3	建築フォーラム		○	○		
	3	建築法規(建築)		○	○		
	3	デザインスタジオ5		○	○		○
	3	デザインスタジオ6		○	○		○
	3	建築論・建築造形論		○	○		
	3	都市計画		○	○		
	3	日本建築史		○	○		
	3	フィールドワーク（建築）		○	○		○
	3	近現代建築史		○	○		
	3	都市史		○			
	3	音・振動環境		○		○	
	3	光・視環境		○		○	
	3	環境生態学		○		○	
	3	設備デザイン基礎		○	○	○	
	3	建築設備総合デザイン		○	○	○	
	3	構造とマトリクス		○		○	
	3	構造計算プログラミング		○		○	
	3	空間の構造デザイン		○		○	
	3	鉄筋コンクリートのデザイン		○		○	
	3	鋼のデザイン		○		○	
	3	材料のデザイン		○		○	
	3	構造デザインの実践		○	○	○	
	3	建物の振動と耐震化		○		○	
	3	建物の耐力		○		○	
	3	建築の地盤力学		○		○	
	3	構造実験		○		○	
	3	デンタルスタジオ		○	○	○	○
	3	材料特性実験		○		○	
	3	施工管理		○	○		
	3	木造建築の構法		○	○		
	3	建築生産		○	○		
3	建築の測量実習		○		○		
4	デザインスタジオ7		○	○		○	
4	卒業研究1（建築）		○	○	○	○	
4	卒業研究2（建築）		○	○	○	○	
4	卒業設計1		○	○		○	
4	卒業設計2		○	○		○	